



平成 28 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社メディアフラッグ
代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫
(コード番号：6067 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 経営企画室長 中園 利宏
(TEL 03-5464-8321)

平成27年12月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 10 日に公表致しました、平成 27 年 12 月期連結累計期間の業績予想値と本日公表しました実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期通期連結業績予測数値と決算における実績値との差異
(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,780	百万円 94	百万円 54	百万円 △400	円 銭 △88.07
実 績 値 (B)	7,833	139	94	△399	△87.88
増 減 額(B-A)	53	45	40	0	—
増 減 率 (%)	0.6	47.9	75.5	—	—
(参考)前期実績 (平成 26 年 12 月期)	6,935	332	300	145	33.07

2. 差異が生じた理由

平成 27 年 12 月期通期連結業績の実績につきましては、前回公表予想（平成 27 年 11 月 10 日）と比較して、営業利益及び経常利益がそれぞれ上回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、第 4 四半期に、営業支援事業において当社での消費財メーカー向けラウンダー業務の受注と当社及び子会社 cabic(株)での食品メーカー等からの推奨販売業務の受注がそれぞれ前回公表予想時の想定よりも上回り連結利益に貢献いたしました。

また、事業再生に取り組んでいる和菓子製造販売事業の子会社(株)十勝たちばなにおいて、平成 27 年 9 月より経営トップの交代により所有不動産売却や店舗運営及び製造部門の見直し等経営合理化を進めたことにより、原価率の低下、人件費の減少等の成果が前回公表予想時の想定よりも上回る結果となり、連結利益に貢献いたしました。

なお、当期純利益につきましては、(株)十勝たちばなにおいて取り組んでいる経営合理化に伴う店舗閉店関連費用やリストラ費用を前回公表予想時の想定よりも多く特別損失として計上したこと等により前回公表予想値とほぼ同水準で落着いたしました。

以上